



学校通信



尼崎市立武庫東中学校

令和8年度 7月号

文責:校長 仁科 良久

「子どもたちに残せる永続的な贈り物は二つしかない。

一つは『根』、もう一つは『翼』である」(ゲーテ)

期末考査が終わり、1学期もいよいよ締めくくりの時期となりました。特に1年生にとっては、初めての定期考査を経験し、嬉しさや悔しさなど、さまざまな感情が行き交ったことでしょう。

中学生になると定期考査をはじめとして、他者からの評価を意識する場面が一気に増えます。受験を見据える3年生では、その重みはさらに大きくなっていきます。

1学期の評価や夏休みの計画等を意識するこの時期に、そんな子どもたちに対して、周りで支える保護者や、教員は、どのような支援ができるでしょうか。

表題の言葉は、ゲーテなどが引用したと伝えられている言葉です。

ここで言う「根」とは、子ども自尊心や自己肯定感です。結果よりも努力を認めること、失敗したときに寄り添うこと、話を最後まで聞くこと。こうした日々の積み重ねが、子どもの心に太い根を張らせます。一方で、結果だけに執着したり、心配のあまり先回りして環境を整えすぎたりすると、不安が募ったり、自信が揺らいだりして、根が弱くなってしまいます。

次に、「翼」とは、主体性や意欲です。夏休みは、計画を立てる、挑戦する、失敗から学ぶなど、子どもが自分で判断する経験を積む絶好の機会です。しかし、大人が答えを示しすぎたり、行動を細かく管理したりすると、大人への依存心だけが育ち、翼は広がりません。「どうしたい?」「次はどうする?」と問いかけ、子ども自身に考えさせることが、主体性を育み、翼を強くします。

「根」だけではチャレンジできず、「翼」だけでは折れてしまう。一方で、過保護は「翼」を奪い、過干渉は「根」を揺らします。両方がそろってこそ、子どもは大きく伸びていきます。

言葉で言うことは簡単ですが、子どもに寄り添う大人の、忍耐と子どもたちへの信頼が試される場所かと思えます。子どもたちの可能性を信じ、成長を見守り、励ましていきたいと、気持ちを新たにす日々です。

◎7月の主な学校行事◎

1日(水)～3日(金) 朝学ドリルコンテスト

8日(水)～15日(水) 期末懇談

17日(金) 1学期 終業式



夏季休業中の学校閉鎖期間は、

8月11日(火)～17日(月)です。

また、2学期の始業式は、

8月31日(月)です。

